

議会運営委員会視察研修報告書

令和5年8月29日

白浜町議会議長 正木 秀男 様

議会運営委員会

委員長 水上 久美子

当委員会は、令和5年度視察研修として、大阪府豊能町議会、熊取町議会を視察し、次の事項について調査したので、その概要を報告します。

記

1. 視察年月日 令和5年7月20日（木）から
令和5年7月21日（金）まで
2. 視 察 地 大阪府豊能郡 豊能町議会
大阪府泉南郡 熊取町議会
3. 視 察 者 議会運営委員会
委員長 水上 久美子
副委員長 堅田 府利
委 員 長野 莊一
" 溝口 耕太郎
" 松田 剛治
議長 正木 秀男
随行 議会事務局 泉 芳明
4. 視 察 事 項 豊能町議会
「議会タブレット導入とペーパーレス化の取り組みについて」
熊取町議会
「議会タブレット導入とペーパーレス化の取り組みについて」

令和5年度 議会運営委員会 視察研修報告書

1. 視察年月日 令和5年7月20日（木）から
令和5年7月21日（金）まで
2. 視 察 地 大阪府豊能郡 豊能町議会
大阪府泉南郡 熊取町議会
3. 視 察 者 議会運営委員会
委 員 長 水上 久美子
副委員長 堅田 府利
委 員 長野 莊一
" 溝口 耕太郎
" 松田 剛治
議長 正木 秀男
随行 議会事務局 泉 芳明
4. 視 察 事 項 豊能町議会
「議会タブレット導入とペーパーレス化の取り組みについて」
熊取町議会
「議会タブレット導入とペーパーレス化の取り組みについて」

大阪府豊能郡 豊能町

■人 口：18,306 人（男 8,726 人 女 9,580 人 令和 5 年 5 月末現在）

■世帯数：8,677 世帯（令和 5 年 5 月末現在）

■面 積 34 km²（東西 50 km、南北 30 km）

■町 木：杉

■町 花：タンポポ

■町 鳥：ウグイス

■豊能町は、大阪府の北部、北大阪地域に属し、大阪都心部よりおよそ 30km の距離に位置しています。東は茨木市、西は兵庫県川西市、南は箕面市、北は能勢町及び京都府亀岡市に接しています。また、豊能町は、北摂山地に位置し、標高 500m から 600m ほどの山地が連なり、町域の約 7 割が山林に占められています。東部地域は、盆地上に広がる農地とその間に点在する集落や開発により形成された市街地、そしてこれらを取り巻く山地によって構成されています。南部地域は小規模な盆地と集落、これらを取り巻く山地によって構成されています。西部地域は吉川集落と谷間の農地のほか、大規模開発による市街地によって構成され、農村環境と都市環境が共存する地域となっています。東部地域と西部地域の境目には妙見山に連なる自然が広がっており、相互の連絡は他市を経由しなければならない側面を有しています。

◎議会タブレット導入とペーパーレス化の取り組みについて

【調査内容】

(1) 議会タブレット導入の目的と住民向けの説明や効果の検証について

主な使用目的

- ①ペーパーレス化（議案書、会議資料、通知・連絡文書等）
- ②タブレットでの閲覧（例規集、会議録、各種計画書等）
- ③議会スケジュールの共有
- ④議員活動での使用

※予算説明資料、決算成果報告書は印刷物を希望者のみ配布

※会議の通知はパソコンのメールアドレスに送信

議会タブレット導入については、住民向けには説明はしていないが、住民から特に意見は出ていない。また、費用面での具体的効果の検証は行っていない。

(2) 活用範囲について

・活用している会議

全ての会議（本議会、委員会、全員協議会）※オンライン会議は除く

・ペーパーレス化の範囲

議案書、会議資料 ※予算説明資料、決算成果報告書を除く

・活用の制限

議員活動での使用を認めているが、通信費は個人負担としている。

・議会事務局の事務の効率化

タブレット導入後も導入前と同様、通知文書等は議員のパソコンのメールアドレスに送信している。

(3) アプリケーションソフトについて

タブレットでメッセージ機能、スケジュール管理機能、Office 機能などは使用していない。

(4) タブレットの選定について

・タブレットの種類や大きさの選定

画面の大きさ、iPad 最新モデルで選定し、コロナ交付金を活用し購入。

(5) 通信契約について

・通信に係る費用負担の割合は

会議以外での使用は、私費または政務活動費としている。

・通信契約の継続

セルラー通信は考えておらず、Wi-Fi モデルを使用している。

・月の通信量、通信速度

最大通信速度は1ギガであるが、会議での使用には支障はない。

- ・本会議中の通信方式
議場、本庁舎は Wi-Fi を使用。

(6) 更新時に改善すべき点について

システムのファイル容量を1ギガで契約しており、使用から1年半で約40%使用している。不要となったファイルを削除するか、ファイル容量を増やすかを検討する必要がある。

(7) 移行期間とフォロー体制について

令和4年1月上旬に議員にタブレットを配布し、同年3月定例会でタブレットとペーパーを併用した。同年9月定例会で希望者に決算説明資料を配布。それ以降は、予算書説明資料、決算資料のみ配布し、完全ペーパーレス化した。

タブレット操作のフォローアップ体制については、システムの利用者講習、タブレットを使用した模擬議会等をおこない対応した。本会議中のタブレット操作での大きなトラブルは発生していない。

(8) 運用について

- ・本会議中のタブレットの運用は議員に任せており、特にフォローはしていない。
- ・議場等にモニターがないため、説明資料はタブレットのシステム内に掲載した資料を見ている。
- ・追加議案を含め議案書をシステムに掲載するのは町長部局の総務課（法制担当課）が対応している。
- ・タブレット導入前の議会紙資料のデータ化は行っていない。
- ・タブレットのセキュリティについては、アプリは議会事務局で管理をしている。
- ・ブラウザの閲覧制限は特にしていない。
- ・タブレット端末等使用基準で、「議員は、端末を紛失し、又は故意若しくは重大な過失により損傷した場合は、端末の購入及び修理にかかる費用を負担しなければならない」としている。
- ・タブレットの保険が高額となるため、ディスプレイ破損（2台 16万円）の予算をとっている。

大阪府泉南郡 熊取町

■人 口：43,763 人（男 21,310 人 女 22,453 人）（令和 2 年国勢調査）

■世帯数：17,256 世帯（令和 2 年国勢調査）

■面 積：17.24 km²（東西 4.8 km、南北 7.8 km）

■町 木：梅

■町 花：ひまわり

■町 鳥：メジロ

■熊取町は大阪都心部から 30 キロメートルの距離で、大阪府の南部・泉南郡にあって関西国際空港のある泉佐野市の東隣に位置しています。熊取町は、東西約 4.8 キロメートル、南北約 7.8 キロメートルの木の葉状の形をした総面積 17.24 平方キロメートル（大阪府の面積の約 0.9%）で、約 4 万 3 千人の人々が暮らしています。地勢は、本町の南方には、和泉山脈の一部である雨山（海拔 312 メートル）や奥山雨山自然公園があり、風光明媚で和泉平野、大阪湾を隔て淡路島も遠望できます。東方は、和泉山脈の山麓地帯で地盤は東南より北西に向かって次第に低く適度の傾斜を保って海岸平野に接しています。和泉山脈に源を発する見出川、雨山川、住吉川は町の中央部を流れ大阪湾に注いでおり、土質は肥沃で山間部は松を主とする造林に、平野は耕地に適しています。気象は、瀬戸内海気候区の東の端に位置しているため、温暖で雨量も少なく、快適で暮らしやすい気候風土です。年平均気温（平成 26 年）は 16.6 度、年間降水量平均は、1 月あたり 122 ミリメートルです。

◎議会タブレットの導入とペーパーレス化の取り組みについて

【調査内容】

- (1) 議会タブレット導入の目的と住民向けの説明や効果の検証について
ペーパーレス化については、ほぼ達成している。住民向けの説明は、議会広報にて周知を行っており、住民からは特に反応はなかった。タブレット導入費用は高額であるが、それ以上に、資料の保管、整理等、議員の利便性が向上したと思われる。
- (2) 活用範囲について
 - ・活用している会議
本会議をはじめ、基本的にすべての議会で活用している
 - ・ペーパーレス化の範囲
議案書、予算書、決算書、計画冊子、議会広報、議会関係の例規はペーパーレスシステムに搭載。その他の例規は、インターネットから検索可能。
 - ・活用の制限
議員の費用負担はなし。議員活動のみ使用可能。
 - ・議会事務局の事務の効率化
議会事務局発信の文書は、すべてペーパーレスで行っている。町長部局からの文書は、基本的にデータにより通知を行っている。
 - ・議会事務局及び当局側からの連絡方法
LINEWORKS というアプリケーションソフトを利用し議員に連絡をしている。
- (3) アプリケーションソフトについて
 - ・メール、ZOOM は使用可能であり、LINEWORKS アプリを使用。
 - ・スケジュール管理は別途管理を行い、PDF データで SideBooks に掲載している。
 - ・Office 機能は使用していない。
- (4) タブレットの選定について
 - ・iOS の安全性と操作性を重視し、iPad を選定し、A4 サイズの資料が見やすいため 12.9 インチのサイズを選定した。議会での使用は非常に見やすいが、持ち運びには少し不便である。
 - ・故障時の対応やアフターサービスも充実することから、タブレットはレンタルとした。
- (5) 通信契約について
 - ・通信に係る費用負担はすべて公費である。
 - ・通信容量は5ギガで使用しているが、特に問題はない。
 - ・本会議中の通信方式は、セルラー回線を利用している。

(6) 更新時に改善すべき点について

機種選定をはじめ Wi-Fi モデルへの変更等について、今後検討していく。

(7) 移行期間とフォロー体制について

- ・タブレットと紙の併用期間はなし。
- ・タブレット操作等に関して、導入当初は業者による研修会を実施した。議会改選後は事務局職員が研修会を実施した。
- ・現時点では、本会議中のタブレットのトラブルはほぼなし。

(8) 運用について

- ・事務局長から閲覧すべき資料をタブレットで知らせ、各議員が閲覧する。議場モニターの表示はしていない。
- ・追加議案については、事前にペーパーレスシステムに掲載。議会事務局から各議員にお知らせ通知を発信。
- ・差替え資料がある場合、当局が議会事務局へ通知し、議会事務局からペーパーレスシステムに差替え資料を掲載する。
- ・タブレット導入前の紙資料については、ペーパーレス化に随時移行している。
- ・議会事務局専用フォルダや各議員専用フォルダに閲覧制限を行うことにより、議員独自の勉強会資料や議員報酬明細書のペーパーレス化も可能である。
- ・タブレットのセキュリティは、原則、事務局指定のアプリ以外のインストールは不可としている。
- ・ブラウザの閲覧は、議員活動以外での使用は不可としている。(熊取町議会タブレット端末機使用基準)
- ・保守契約の対応範囲外の費用が発生した場合は、自己負担となる。
- ・タブレット機器の更新に関し、費用を安くし現時点の利便性を維持できるかの検討が必要である。

【所見】

タブレット導入の効果として、資料の保管整理などの利便性の向上につながりペーパーレス化については両議会共にほぼ達成している。

ペーパーレス化によりタブレット端末のみで会議資料が閲覧可能になるメリットがあり災害時などの連絡方法としても活用できる。また両議会ともにタブレットを導入してから大きなトラブルもなく、効果的に活用出来ていて、当議会でもタブレット導入に合わせて庁舎内の Wi-Fi 環境の整備も進め、議会でもスキルアップを図る研修を重ねたい。

費用対効果の検証も必要であるが、タブレット導入費用はそれ以上に資料の保管、整理等の利便性が向上している。また、ランニングコストも考え今後協議したい。

移行については特に混乱もなく運用をしている。機種は A4 サイズで説明を受け、今後タブレット、アプリの選定等、今年度内のタブレット導入予定に向けて今回の研修は大変意義があった。タブレット導入は導入することが目的ではなく、導入によりペーパーレス化、情報の共有、連絡、リモートなどに活用できる。今回の研修では当方からの質問に対して細部に渡り回答頂き、今後の参考にさせて頂き、議会としても予定通り導入を進めるべきである。

豊能町議会



熊取町議会

